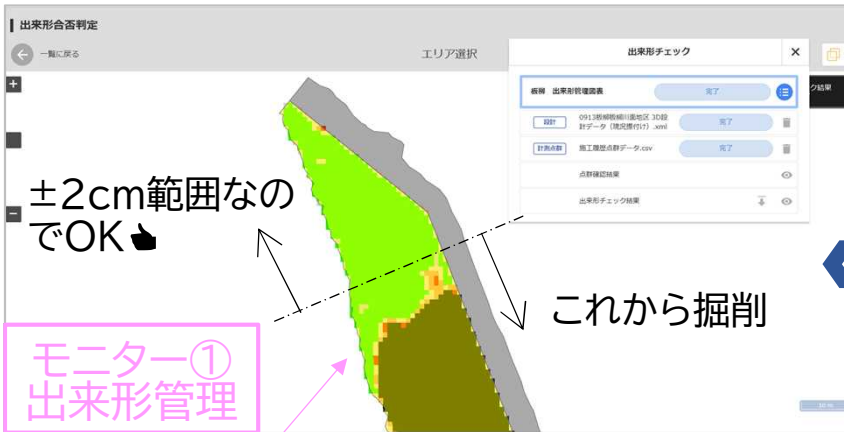


ICTアプリを使用して出来高・出来形管理を行っています。

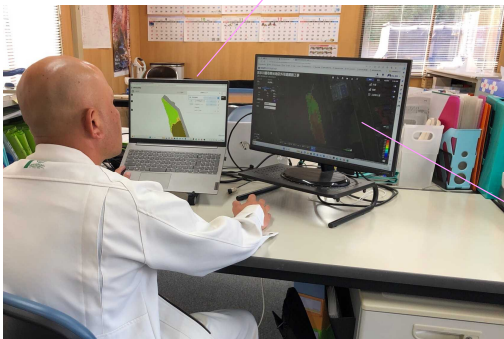
【メリット】

ICTバックホウの刃先から得られる施工履歴データを取得し、現場をデジタルで見える化することにより、土量の進捗や仕上がりをリアルタイムで確認できます。



Smart Construction
Retrofit

バケットの刃先から得られる
施工履歴データを取得

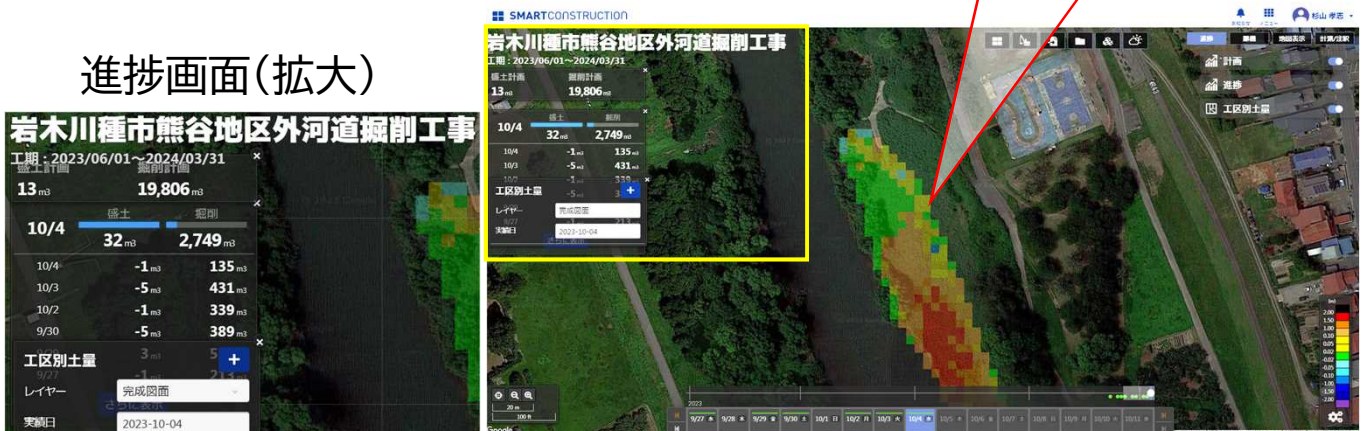


現場事務所のパソコンで出来形判定、掘削の進捗率を把握。

モニター② 出来高管理

緑色～黄色はOK
赤くなっていくほどより深く掘削する必要があります

進捗画面(拡大)



岩木川種市熊谷地区外河道掘削工事

富士建設株式会社

